

## 競技者注意事項（小学生陸上競技交流大会）

- 1 規 則 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則を準用して実施する。ただし、児童である年齢を考慮した教育的配慮のもとに競技・運営をする。
- 2 練 習 練習は練習場または指定された場所を利用すること。
- 3 プロ訂正 プログラムのナンバーカードや氏名等に記載誤りがあった場合は、午前8時45分までに、受付に申し出ること。
- 4 招 集 (1)招集所は、100mのスタート地点後方に設ける。朝の受付とは別になる。時間等はプログラムを販売するので、すみやかに確認すること。  
(2)出場者は自分の出場する種目ごとに、招集所で自分の名前にチェックをすること。  
(3)招集時間は、トラック種目は競技開始40分から20分前まで。フィールド種目は競技開始60分前から30分前まで。時間に遅れないようにすること。その後は、競技者係審判員の指示に従って待機すること。
- 5 入 退 場 競技役員の指示に従って入退場すること。
- 6 ナンバーカード (1)ナンバーカードは受付時に配布する。また、競技終了後、必ず返却すること。安全ピンは個人またはチームで用意すること。  
(2)ナンバーカードは胸と背に1枚ずつ確実につけること。  
(3)トラック種目では、腰用ナンバーカードを腰部分の体側右後方につけること。
- 7 リレー競技 リレー競技に出場するチームは「リレーオーダー用紙」1部を、招集完了60分前までに招集所に提出すること。チーム責任者は忘れずに。なお、用紙は招集所にある。
- 8 競技方法 (1)計 時 トラック種目は写真判定で行う。  
(2)リレー 次走者のバトン受け渡しは、30mのリレーゾーンの中で行う。次走者はゾーンの中でスタートしなければならない。  
(3)スタート ①800mは、スタンディングスタートとする。それ以外のトラック種目は、クラウチングスタートとする。また、スターティングブロックの使用は認める。  
②スタートはイングリッシュコールとする。不正出発に関するルールは、旧ルールで行い、同一競技者が2回不正出発を行った場合は失格とする。ただし、退場ではなく、オープン出場とする。(そのまま競技は続けるが、順位はなし、次ラウンドへの出場権もなし、記録のみ測定する扱いとする。)  
  
(4)スパイクの使用を認める（トラック7mm以下、フィールド9mm以下）。なお、素足での出場は認めない。  
(5)80mH 小学生の場合は小学生用ハードルを使用し、下記の規定で行う。

### 80mH 競技の規定

高さ	:70cm								
インターバル	: 7m								
台数	:9台								
台数	1台目	2台目	3台目	4台目	5台目	6台目	7台目	8台目	9台目
位置	13m	20m	27m	34m	41m	48m	55m	62m	69m

- (6)走幅跳・ジャベリックボール投
  - ① 3回試技後、トップ8でさらに3回の試技を行う。
  - ② 3連続試技ではなく3ラウンド試技で行う。
  - ③ ジャベリックボール投は、ジャベボールを使用し、やり投げ用ピット(約29°)を使用し、助走は15m以内で実施する。投げ方は、オーバーハンドスローとし、ジャベボールの本体(羽の部分ではない)を持ち投げること。
- (7)走高跳
  - ① 跳躍方法は「はさみ跳び」で行う。
  - ② 着地は必ず足裏から着地する。それ以外の着地は無効試技とする。
  - ③ バーの上げ方は、次のとおりとする。(男女とも同じ)

### 走高跳びのバーの上げ方

練習	試 技							
1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	以後3cm刻みで上げる

- 9 記録証 競技出場者全員に授与する。記録証は各チーム代表者が浄書すること。
- 10 賞 状 1位～8位までの入賞者には賞状を授与する。＊1位～3位は表彰式を行う。
- 11 その他
- (1) 小学生で神奈川県協会の「神奈川県小学生陸上運動等級記録」に達した場合は、当日中に申請確認した者には、等級別ワッペンを交付する。(詳細についてはプログラムを参照)
  - (2) 試技およびレーン順は、主催者が公平に決める。(大会プログラム参照)
  - (3) ゴミは各自で持ち帰る。また、貴重品等は各自の責任で管理すること。